

公民館図書室

☎ 中央公民館 ☎ 77-0066

☆図書室のおはなし会

季節のテーマに合わせて、読み聞かせを行っています。絵本の世界へLet's Go！

■日時 8月8日(土)
午前10時30分～

■テーマ 「夏まつり」
■対象者 小学校3年生まで
(保護者同伴)
■場所 中央公民館図書室
■参加費 無料

☆おすすめ図書の紹介

■青天

著 者：若林 正恭
出版社：文藝春秋
青春の苦みと悦びに満ちた、著者渾身の初小説。

■週末つくりおき 激やせ冷凍弁当

著 者：だれウマ
出版社：扶桑社
ラクしておいしく、たくさん食べられてキレイにやせる「だれウマ式ダイエット」

■やばいやばい

作 者：太田久美子
出版社：ポプラ社
全世代必読！「伝える力」が身につく絵本

☆図書のリクエスト

県立図書館からのお取り寄せもできます。
また、インターネットからの図書検索もできますので、ご利用ください。



▲図書検索

公民館講座 参加者募集！

☎ 中央公民館 ☎ 77-0066

8月29日(土)までに、中央公民館へ電話または窓口でお申し込みください。※定員になり次第、締め切ります。

オカリナ教室

オカリナのやさしい音色に癒やされてみませんか。「春の小川」や「バラが咲いた」などの曲を練習してみましょう。

■日時 9月15日(火)、10月20日(火)、11月17日(火)、12月1日(火)、12月15日(火)
午後1時30分～3時30分

■対象者 町内在住・在勤者
■教材費 オカリナ貸出(無料)
※購入希望の場合(6,600円)
■定員 10名(先着)
■講師 淵田 和子

「しばやまふるさと歴史講座」
殿塚古墳・姫塚古墳発掘ものがたり

殿塚古墳・姫塚古墳は、今から70年前に発掘調査が行われました。発掘の経緯や調査の成果について、当時の写真を用いてふり返ります。

■日時 9月12日(土) 午後1時30分～3時
■対象者 町内在住・在勤者
■参加費 無料
■定員 15名程度(先着)
■講師 はにわ博物館長 奥住 淳

臨時生活応援商品券
使用期限のお知らせについて

商品券の使用期限は9月30日(水)までとなります。

未使用の商品券をお持ちの方は、ぜひ期間内にご利用ください。
※有効期限が過ぎた場合は、無効となり使用できません。

商品券が届いていない場合は、企画調整係までお問い合わせください。

この商品券は、令和7年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しています。

■発行 企画空港政策課企画調整係
☎ 77-3926

■発行協力 芝山町商工会
☎ 77-1270



▲利用可能店舗

芝山町
臨時生活
応援商品券
¥1,000

使用期限 令和8年 9月30日(水)まで
発行：芝山町

☎ 企画空港政策課企画調整係 ☎ 77-3926

掛川藩と柴山藩・松尾藩

■芝山町のルーツについて知っていますか？

5月20日、静岡県掛川市のライオンスクラブの皆さまと、友好クラブの総武中央ライオンスクラブ(山武郡)が掛川藩ゆかりの地、芝山仁王尊を視察しました。掛川市と芝山町には、明治維新という激動の時代に結ばれた深い歴史があります。今回は、その「掛川藩」「柴山藩」「松尾藩」の歩みをご紹介します。

■掛川藩主太田氏の芝山転封

東海の名城掛川城を本拠とする掛川藩は、江戸時代後期には太田氏(室町時代に活躍した太田道灌の子孫)が藩主を務めていました。



▲掛川城天守閣(平成6年再建)

明治元年(1868)、前年の大政奉還により旧徳川将軍家が駿河・遠江(現静岡県)へ移され、

代わりに当地の各藩が房総へ領地替えとなります。

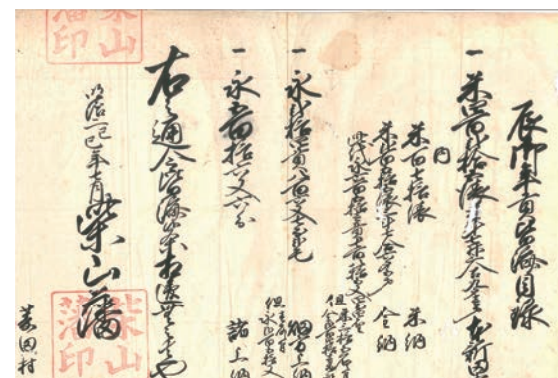
これにより掛川藩主太田資美(すけよし)が、5万3千石で武射郡と山辺郡(現山武郡)に150ヶ村の領地を与えられました。ところが、この地域には城郭が無いことから、藩主が住み政治を行う仮藩庁を芝山仁王尊に置いて柴山藩と称しました。

そこで、藩士やその家族など2千名もの人々が、芝山仁王尊付近の村々の寺院や農家に分かれて住むことになりました。町域では、芝山村・山中村・高谷村・宮崎村・境村・下吹入村・上吹入村・大台村・殿部田村・新井田村・高田村に分宿しました。

■柴山藩政の様子

掛川からの引越し作業は明治2年5月にほぼ終わり、太田資美は柴山藩知事に任命され、同年7月に東京駒込の藩邸を出て、船橋、酒々井で泊り、加茂から芝山に入部しました。資美は早速領内にキリスト教の禁止、博打賭け事の禁止、百姓に不似合いな遊芸の禁止、役人への贈り物の禁止、火の元に気をつけることなど

18ヶ条の「領内御条目」を出しました。また、11月には自ら領内の巡視に出かけ、村役人には羽織を着用することなど細かな指示をする一方で、召集した老人には寒いので土間に降りずともよいこと、農作業中の人は休む必要はないと領民に対する配慮もしています。



▲柴山藩年貢皆済目録(明治2年、菱田村)

■松尾城の築城と松尾藩

明治3年11月、資美は、大堤村・猿尾村・八田村・田越村(現山武市)に、新たな城郭を築き、明治4年1月に藩庁を移しました。藩の名称は、掛川城の別称松尾城にちなんで松尾藩、城郭を松尾城としました。現在の松尾城は、藩知事の居館跡は山武望洋

中学校、藩庁跡は松尾自動車教習所になっています。また、松尾城は、大砲を用いた戦いに対応するため西洋式の稜堡式(りようほしき)城郭(函館五稜郭のような形態)を採用しました。しかし、松尾藩は、発足から6ヶ月後の明治4年7月に、廃藩置県により領地はすべて新政府に没収されました。資美は東京移住を命じられ、藩士たちも故地掛川に戻る者、松尾に残る者、新たな土地へ行く者などさまざまでした。

掛川藩が芝山の地に仮藩庁を置き、「柴山藩」を経て「松尾藩」へと歩んだ歴史は、わずか数年という短い期間ではありましたが、掛川市と芝山町・山武地域を結ぶ貴重な歴史の一ページとなっています。



▲芝山仁王尊にて集合写真

編集協力

はにわ博物館館長 奥住 淳